

## 熊本地震 震災状況報告



### 一日も早い復旧を — 熊本被災現場を視察して

**平**成28年4月14日(木)熊本地方に地震発生の報告を受け、翌15日深夜、北九州空港に到着。午前1時半に震度7を記録する地震が再度熊本を襲い、福岡市内の自宅でも震度5強の連続した揺れに恐怖を感じました。19日再び福岡に戻り、支援用の飲料水を買うためにスーパーに行きましたが、福岡市内も1人1本の制限がある水を県内を走り回り家用車に積めるだけ積み、翌日、熊本市内に入りました。

熊本城の変わり果てた姿を目の当たりにした時は思わず涙がこぼれました。まずは、県歯会館で飲料水を降ろし、お見舞いのご挨拶をしましたが、職員の恐怖と疲労と不安でいっぱいの顔に、一緒に涙、涙。熊本県校友会三笠 司会長の診療所に伺いましたが、三笠会長はご自宅が半壊のため、被害が残る診療所での生活を余儀なくされていました。

その後、被害の大きい益城町に移動し、さらに愕然となりました。車内で生活している方は水すらない状況でしたので、お声をかけて僅かではありましたがお渡ししました。最後に県歯会館に戻り、浦田会長らから現在の状況を伺いました。会員の診療所、自宅の被災数が増えていくこと、明日鹿児島からJMATが入り歯科医師も含まれると聞いているから県歯対策本部と連携を組んで市民のためへの取り組みを強化したいことなどを話されました。私からは、1日も早い復旧に国でできることを全力でやること、お役にたてることは何でもすることをお話して、会館を後にいたしました。

校友会副会長 西村正美 (78回)

### 被災会員に温かいご支援を

この熊本地震は皆様ご存知のように、大分県を含む広い地域で活発な余震を続け、大きな被害をもたらしました。被災を受けた地域は広範囲にわたり、多くの方々が避難生活を余儀なくされています。この大地震により被災された地域の方々はもちろんのこと、同窓である校友会会員の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

校友会本部では、4月18日(月)に校友会本部災害対策本部を立ち上げ、翌4月19日(火)に第1回平成28年熊本地震対策本部会を開催し、支援活動について協議いたしました。翌4月20日(水)には、西村正美副会長が被災地に赴くとともに、熊本県校友会会長に校友会災害基金からのお見舞金をお渡しいたしました。

また、同時に校友会義援金窓口を設置いたしました。学生諸君のご親族、お知り合いの校友会会員の方々にも、被災された多くの校友会会員を支援するために東日本大震災の時と同じく、再び校友会の力を結集していただきますよう、学生諸君からお伝えいただければ幸いです。

校友会会長 近藤勝洪 (54回)

記

- 募金額：一会員 任意
- 銀行名：三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店
- 口座番号：普通預金 No. 0383795
- 口座名：日歯大校友会 平成28年熊本地震義援金口  
会長 近藤勝洪

※振込手数料はご負担ください。

# ジュブリー5025 が開催される

平成28年6月1日(水)午前10時30分から生命歯学部富士見ホールにて創立110周年記念式典が開催され校友会会員の卒後50年(第55回)、卒後25年(第80回)の106名と大学教職員250名が参列しました。

校友会から記念特製バッジと大学から記念品を贈呈され、式典終了後、ホテルメトロポリタンエドモントで大学主催の記念祝賀会にジュブリー5025該当の校友会会員が招待され、大学職員との楽しい時間を過ごしました。

校友会会員は、卒業してからも大学、病院との絆は深く大学はいつも家族のように迎えてくれます。

## 校友会からのご挨拶

### 創立110周年について

校友会副会長  
青柳裕易 (69回)



6月1日の創立記念日は過ぎましたが、10月22日(土)には日本歯科大学創立110周年記念式典が開催されます。関東大震災、2度にわたる世界大戦を生き延び、幾多の困難を乗り越え、この長寿を迎えた母校に心からお慶びを申し上げたいと思います。

本学は、明治期に近代歯科医学を導入した我が国で、最初に設立された歯科医育機関の流れを継承しています。明治21年(1888)4月11日、神翁金斎と吉田仙正の出資を得て医師の石橋 泉 が設立した「東京歯科専門医学校」(東京歯科大学とは無関係)がそれで、日本歯科大学の創立者、中中市五郎先生はここに入学しています。この学校はすぐに廃校となりますが、市五郎先生は神翁と吉田の「歯科講義会」で勉学を続けました。石橋 泉 もそこで教鞭をとっています。

ですから私たちの学問の系譜は今年で128年になったこととなります。

今回行われる創立110周年記念行事の大きな事業として「育英奨学金」への寄付があります。この奨学金は、皆さんの保護者にご不幸があり、勉学を継続するのが困難になった際に、生活費の一部を援助するものです。この制度は昭和41年に校友会が開始したものであり、当初は貸付金でした。現在は学校に移管し、返済も必要ありません。「育英奨学金」は、皆さんが逆境にあっても勉学を継続し、歯科医師となる目標を達成できるよう、先輩である校友の方たちの善意で始まりました。最近10年間で支給額は7千万円を超えています。今後この仕組みを維持できるよう、日本歯科大学校友会は大学への協力を惜しまないでしょう。学生の皆さんもそれに応えてしっかりと勉強してください。



卒後50年(第55回)の皆さん



卒後25年(第80回東京)の皆さん



卒後25年(第80回新潟)の皆さん

## 女性の会 講演会開催報告

日本歯科大学校友会では毎年卒業生を対象に「女性歯科医師の集い」を開催しています。

今年は4月3日に飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにて、村上一枝先生(54回)と田中真喜先生(92回)の講演会が行われました。村上先生は西アフリカ・マリ共和国で「カラ=西アフリカ農村自立協会」を設立し、その代表として25年近くマリに居住しながら、マリの人々が経済的に自立し健康的な生活を営めるよう、小中学校、助産院の設立、教員、助産師の育成など、数多くの支援活動を行っていらっしゃいます。村上先生には歯科医師という職をなげうって支援を続けていらっしゃる信念、マリの実情と活動内容についてお話をいただきました。

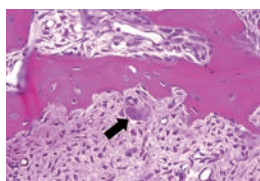
医療法人誠敬会理事長の田中真喜先生には、週2回の勤務医から理事長として歯科医院をまとめるようになるまでの苦労と道のり、大切にしていること、ご専門である歯周病学の最新の知識についてお話をいただきました。

「集い」では毎回各界で活動なさっている卒業生の講演会、食事会を開催し、女性歯科医師が仕事も家庭も大切に生き生きと、自分らしく過ごせるような色々な取り組みをしています。今後はぜひ皆様にも参加していただきたいと思います。今回の講演会の様子は校友会のHPに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

## KOYU Quiz

Q. 矢印の細胞が有するものはどれでしょうか？  
すべて選んでください。

- A. RANK
- B. 炭酸脱水酵素
- C. IL-1のレセプター
- D. カルシトニン受容体
- E. TRAP(酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ)



## 校友君インフォメーション

石川県日本歯科大学校友会親睦会

開催日時：平成28年8月6日(土) 19:00～

会場：金沢石亭 金沢市広坂1丁目9-23

TEL：076-231-2208 会費：無料

\*参加希望の際は7月16日(土)までに幹事柳下(076-248-1186 ヴィ歯科医院)へ御連絡をお願いします。

## 校友会主催 学生特別講義

●第23回 平成28年5月17日(火)

### 「バイオ再生医療をになう歯髄細胞の魅力」

中原 貴 (88回)



●第24回 平成28年5月19日(木)

### 「歯科医師として国会議員として取り組んだ6年間」

西村正美 (78回)



°Eマノウレソモクニ好酸姓は細胞質。細胞質は、破骨細胞です。したがって答えはAとE  
KOYUの答え：矢印で示した細胞は、破骨細胞は数個の核を有する多核巨細胞。細胞質は好酸姓をします。

## 国家試験に向けて

## 新卒からのアドバイス

**私**は自分の経験から、4年生までで再試験が多い学生、CBTの再試験を受けた学生、特に基礎が苦手な学生などにアドバイスができると考えています。

私は在学中に思うような成績を出すことができませんでした。それによって担当の先生にも迷惑をかけてしまいました。

5年生に進級した際には先生方に「CBTの再試験を受けた学生で6年間で国家試験に合格することはありえない。なおかつ、君のこれまでの成績で合格するのは厳しい。」と言われ、心を引き締めました。そして、6年生になった時、これを打ち破るべく綿密に計画を立てるように心掛けました。

まず、勉強時間、勉強方法、勉強すべき項目を確立しようと考えました。知識がとてもしないと感じていたので、例えば、保存修復では、Blackの窩洞の分類から始めるほどでした。

次に、向上心があり、成績の良い仲間と一緒に勉強するようにしました。それによって分からないところは気兼ねなく質問でき、自分の成績も向上しました。

他には、模擬試験の成績を常に分析すること、娯楽を捨てて勉強に励むこと、試験勉強で有用なまとめノートを作成すること、毎日授業に出席することなどを意識して勉強するようにしました。

最後に、1年間で合格したいという強い気持ち、それに伴った勉強量、一緒に頑張れる仲間達がいれば、国家試験合格も困難ではないと思います。6年生のみ皆さんの国家試験合格を心より祈っております。

新潟生命歯学部 若槻隼人(105回)



## 合同合宿が開催されました

**昨**年と比べ全体として100人ほど多く参加していただき、とても活気がありました。天候には、あまり恵まれなく参加して下さった方々にはご迷惑をかけたが、怪我や問題はとくに起こらず無事に最後まで終わることができました。先生方をはじめ、体育会員そして向

こうの施設の方、様々な方にささえられて終わることができたので、とても感謝しています。ありがとうございました。

生命歯学部4年  
合同合宿実行委員長  
梅田魁人



## 合同合宿を終えて

**ま**ず福島合宿開催にあたり、ご協力いただいた福島の皆様、本学の関係者の皆様誠にありがとうございました。また参加された学生の皆様のご協力もありスムーズに執りおこなうことができました、ありがとうございました。震災から5年の月日が経ち昨年から再開された福島合宿を今年度も無事に終わられた事を嬉しく思います。私も2011年の震災後に東北を訪れましたが、

その時の光景は今でも目に焼き付いています。今これだけ復興し、我々が合宿を行えた事に感銘を受けました。我々が福島で合宿を行い、復興していく姿に実際に肌で感じることに、合同合宿をする意義があると思えました。今後も後輩たちしっかりと引き継ぎ、福島と日本歯科大学との絆を大切にしたいです。

新潟生命歯学部4年  
合同合宿実行委員長  
西川元規



## 平成27年度日本歯科大学校友会 スポーツ・文化・学術大賞校友会 特別表彰

**平**成27年度校友会スポーツ・文化・学術大賞の表彰式が、平成28年4月29日(金)福島県猪苗代町の体験交流館「学びいな」にて、日本歯科大学合同合宿開会式の中で行われました。当日はGW初日でもあり、そこに高速道路での事故渋滞が重なり、生命歯学部の学生の到着が遅れ、生命歯学部の学生不在というアクシデントがありましたが、定刻に開会されました。

開会式は合同合宿実行委員会の進行で始まり、実行委員長の開会の言葉、中原 泉 理事長・学長・校友会会頭のご挨拶があり、羽村 章生命歯学部長のご挨拶、関本恒夫新潟生命歯学部長のご挨拶のあと、校友会より藤井重

壽副会長の学生たちへの激励のご挨拶があり、実行委員長へお祝いの金一封が渡されました。

また、スポーツ・文化・学術大賞として、歯学体で優勝した生命歯学部・硬式野球部と新潟生命歯学部剣道部・今井純平君(代理・和島陽花さん)が受賞、それぞれに表彰状と金一封が贈られました。

その後、誠和会による校歌斉唱と合同合宿の成功を祈ったのエールが行われ、合同合宿に賭ける熱い思いが伝わる中、閉会しました。

大井 了(校友会常務理事・71回)



## 全国全ての鉄道を踏破

東京都江戸川区開業  
中島 信 (72回)



趣味には、広く世間に認められているものがあります。私の鉄道趣味は、残念ながら後者に属するようです。

本来、鉄道というものは目的地まで移動するための手段の一つであって、「鉄道に乗ること自体が目的」であるという趣味が存在することをわかってもらうはなかなか難しいことのようにです。

私は学生時代から鉄道に乗るのが大好きで、10年位前に国内の全ての鉄道(JR、私鉄、地下鉄、路面電車など)を乗り終えました。

この話は各種新聞にも取り上げられ、多くの校友の方に読んでいただきました。その後現在にいたるまで、新しい路線の開業、新しい駅の開業、新しい車両

など情報が入るたびに全国を飛び回る日々が続いています。

6年生の皆さんは、大学を卒業して歯科医師として活躍を始めると、どうしても周囲にいる人たちは、歯科関係者ばかりということになりがちです。下手をすると友人も飲み友達も、普段一緒にいるのは全て歯科関係者ということになりかねません。これは長い人生の中で決してプラスなことではありません。

幸いなことに私は鉄道という生涯の趣味に巡りあうことができました。飲み友達も鉄道関係者、旅行関係者など趣味つながりの友達が数多くいます。これらの友達は自分の宝物です。

今、この文章を読んでいただいている方々も、卒業した後も視野を大きくして、できればプライベートの時間に仕事のことを忘れられ、没頭できる趣味を見つけていただければいいと思います。その趣味は世間に認められているものでも、認められていないものでもかまいません。それは、間もなく歯科医師になる皆さんにとって、生涯の大きな財産になるはずで

歯科医師としての素晴らしい成功と、趣味のある充実したプライベート、その両方ともを手に入れられることを願ってやみません。



### 図書館からのお知らせ

#### 生命歯学部

##### ●図書館開館情報

試験のための土曜日開館(開館時間 10:00~17:00)  
6/25、7/2、7/9、7/16、10/1  
試験のための平日開館時間延長  
6月27日(月)~7月20日(水) / 9:00~21:00  
9月28日(水)~10月5日(水) / 9:00~21:00  
夏休み大学一斉休暇と開館時間変更  
8月12日 大学一斉休暇  
8月10日(水)、15日(月)~16日(火) / 9:00~17:00  
蔵書点検のための開館時間変更  
9月14日 / 17:00~20:00

Twitter



Facebook



##### ●企画展示のお知らせ

2016年度より毎月テーマを決めて図書を紹介しています。

6月の展示は「祝☆中原市五郎生誕150周年記念特別展示」として中原先生の著作物および伝記などの資料を展示しています。Facebookにて展示物の写真を公開しています。

##### ●今後の予定

7月:日歯クラブ活動(部活応援)。スポーツ関連図書  
8月:夏休みのため企画はありません  
9月:食欲の秋にちなんで「食」に関する図書  
10月:学長先生著の小説紹介

##### ●最新看護索引Webが今年の5月より利用できるようになりました。

医学中央雑誌刊行会が提供するデータベースで、看護の実践・研究・教育に関連する有用と思われる文献を採録しています。

1986年から収録、890誌(2016年6月現在)が対象、月1回更新。学内LANに接続できるパソコンから検索ができます。図書館のホームページとリンクをしています。  
<https://jk04-jamas.or.jp/kango-sakuin/>

#### 新潟生命歯学部

##### ●開館時間(平成28年度7月~8月)

平日 9:00~20:00 土曜日開館 10:00~17:00  
(8月10日~8月16日は閉館となります。)

- \* 図書館、学習室でのWi-Fi無線LAN環境を整備しました。
- \* 鞆類の持ち込みが可能になりました。
- \* マイボトルやペットボトルなどの蓋付きの飲み物に限り、図書館内での飲食が可能になりました。
- \* 貸出期間の延長を貸出期限内に図書をカウンターに持参し、予約が入っていない場合に限り可能になりました。

### 診療室での物語

#### カルテ No.12 窓のある理由



日本歯科大学附属  
病院総合診療科4  
准教授  
顎関節症診療センター  
センター長  
原 節宏  
(75回)

アメリカで最古の名門私立大学として知られるハーバード大学の大学院で、講義が行われる講堂には、授業に集中するための工夫として、窓が一つもない部屋にしているという話を聞いたことがあります。私は北欧のデンマークに留学をさせていただいたことがあって、その時の授業は、先生だけが話をするのではなく、学生さんも、ほぼ全員が参加して討論

(ディスカッション)をしあうという授業スタイルを多く経験しました。そんな時に、教室に窓があって、ふと窓から景色を眺めようと、確かに討論に参加しようという気がそがれてしまいます。でも、窓から見える緑の木々が風にそよぐ景色を見ると、気持ちをリセットすることができて、新たなアイデアが湧いてくることも経験しています。窓をなくす理由、窓がある理由、それぞれの目的に応じた環境をととのえることが重要なのだと感じました。

私が主に診療をしている診療室は東京校附属病院の4階にあります。JR飯田橋駅のホームと線路を見渡せる、大きな窓で囲まれた明るい個室の角部屋です。このエリアは木々も多く、とても眺めがよくて、開放感があって、私だけでなく、ここを訪れる患者さんの気持ちもなごんでくれていると思います。

顎関節症という病名を聞いたことがありますか? アゴの痛みや動きが悪くなることで口が開きにくくなる病気です。私はその専門の診療センターで日々、活動をしています。

今から20年位前までは、咬み合わせに原因となる問題があって、関節が変形した状態で生活を続けることで、関節がひっかかったり、アゴやコメカミ部分が痛くなることで、思うように口が開かなくなると思われてきた症候群です。つまり、何か一つの原因がもとで発症していると思われていたのです。ところが、関節の形や咬み合わせに問題がある人が高い確率で顎関節症になっていくのかというと、そのような傾向はなく、関節や咬み合わせに問題がないにもかかわらず顎関節症になってしまう人がたくさんいることが、その後の調査研究でわかってきました。

最近の研究では、顎関節症は筋肉や関節の問題、知らないうちに悪化させている行動や思い込み、そして人間関係などの肉体的ストレスと精神的ストレスが複雑に絡み合って発症する「生物心理社会的症候群」であることがわかってきました。そのような患者さんのお話を聞く医療面接では、患者さんの本音を聞き出すことができ、治療では、少しでも患者さんが抱えているストレスを軽減することができる環境の中で進められること、つまり診療室の環境も大きく影響するようになってきました。

かすかに小鳥がさえずる環境音楽をかけながら、アロマオイルがほのかに香る、大きな窓のある診療室で私は、今日も、顎関節症に悩める患者さんの診療を続けています。

私は、附属病院のこの場所で診療できることを、とても幸せに思っています。

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

